

※冷蔵庫など、普段目に付く場所に貼ってください。

災害に備えて、いつ・どこへ避難するのか家族と話し合っておきましょう。

あなたの**緊急避難場所**はどこですか？

①

避難したら、緊急避難場所がいっぱいである場合が想定されるため、複数考えておきましょう。

②

メモ欄(注意事項など)

「災害・避難カード」

氏名 -----
住所 -----

性別 ----- 血液型 ----- 家族 ----- 人
緊急連絡先 -----



▲須坂市洪水・土砂災害ハザードマップ

ハザードマップは、市ホームページからダウンロードできます。下のQRコードからアクセスしてください。



誰を気にかける？(近所の高齢者など)

注意を促す情報や避難に関する情報が発令されたら…誰に連絡する？

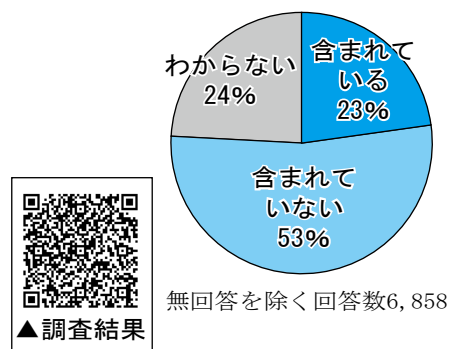
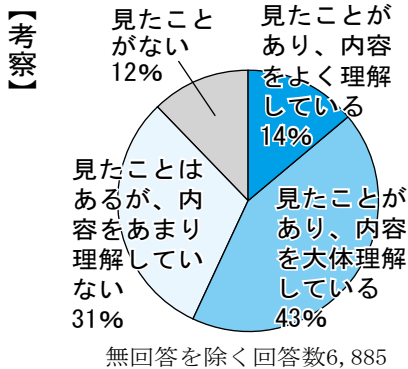
誰に？

連絡先は？

災害	避難の合図	避難行動
土砂災害		【日中】
		【夜間】
水害		【日中】
		【夜間】

※切り取ってご活用ください。このカードは市ホームページからダウンロードできます。

【考察】
2つの調査項目の結果、ハザードマップの認知度は88%と高い数値となった一方、自宅が浸水・土砂災害想定区域に含まれているかわからない方が24%でした。この機会に自宅をハザードマップと照らし合わせ、危険度を確認してください。



▲調査結果

■「洪水・土砂災害ハザードマップ」を見たことがありますか。また、内容を理解していますか。

■あなたのお住まいは、浸水想定区域・土砂災害想定区域などに含まれていますか。

この調査は、「令和元年東日本台風」の際、市民の皆さんが防災情報をどのように入手し、どのような行動をとったのか。また、地域の危険性などをどのように認識していたのかなどを把握し、今後の避難対策に役立てる目的で、昨年12月に市内全戸に配布し、7172世帯(回答率35.5%)から回答をいただきました。ありがとうございます。
調査結果の速報値がまとまりましたので、市ホームページで公表するとともに、主な項目を広報須坂でお伝えしていきます。

「令和元年台風第19号の避難行動に関する調査」の概要 シリーズ①